



【編集・発行】侍浜町振興協議会 侍浜市民センター (☎0194-58-2110)

令和六年 侍浜町振興協議会 新年交賀会開催

令和六年一月二十一日(日)午前十一時から四年ぶりとなる侍浜町新年交賀会が侍浜市民センターにおいて澤里充男久慈副市長はじめ約四十名の参加者で開催されました。

開会に続き、久慈清悦振興協議会会長が「新年おめでとうございます。」

一月一日の能登半島地震で被災された方々にお見舞い申し上げるところでございます。

昨年は振興協議会総会と官公署等職員歓迎会を四年ぶりに開催できましたが、夏祭り、敬老会、文化祭等開催を検討したところ、新型コロナウイルス感染症等



侍浜町における少子高齢化や役員の担い手不足などに対応するため、令和四年度から市の未来づくり事業を導入して対応策の検討を進めているところです。

組織のスリム化や町内全体の行事の見直しについてご意見を伺いながら実施してまいります。」と挨拶しました。

次に澤里充男副市長から「日頃より市政交流人口の拡大など地域力を高める取り組みを今年も進めてまいりたいと考えているところでございます。

【裏面記事】

- ・放課後子ども教室で「クリスマス会」を実施
- ・市政懇談会を開催
- ・「野球しようぜ!」大谷選手のグループ届く
- ・拓陽支援学校「侍浜中学校と交流」外部清掃実施
- ・「らくらくスマートフォン講座」を開催
- ・侍浜駐在所から
- ・侍浜町の人口と世帯数
- ・お知らせ

運営、コミュニティ活動自主防災組織の結成とご理解、ご協力をいただいているところでございます。

まず初めに、今年一月一日に発生いたしました能登半島地震において亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

久慈市においては支援の一環として能登町被害調査のため職員派遣を決定したところでございます。

四月には新山根温泉のべっぴんの湯のリニューアルオープン、道の駅いわて北三陸のオープンによるにぎわいの創出、そして九月には四年ぶりに久慈秋祭り

が完全実施され、約十万人の人数が出ると見込まれることとなりました。

しかし燃油や原材料価格の高騰が現在も続いているところ、不安要素も拭いきれないところでもございます。

久慈市の最大の課題は少子高齢化と人口減少であります。若者が生活できる基盤を強化していく必要がございます。

久慈市沖の洋上風力発電導入を積極的に推進、観光や教育、旅行を通じて

交流人口の拡大など地域力を高める取り組みを今年も進めてまいりたいと考えているところでございます。地域コミュニティ事業の取り組みを通じて、地域振興へのご指導、ご助言を引き続き賜りますようよろしくお願い申し上げます。」と祝辞を述べられました。

久慈義昭侍浜町振興協議会顧問からは「厚労省の人口問題研究所が二〇五〇年の岩手県の人口推計を公表しました。岩手県の人口は現在の百二十万人から七十八万人、そして久慈市の人口は四十五%減で一七六〇〇人になると非常にショッキングな報道がされており

侍浜保育園ですが、現在は三十九名の園児数です。四月には二十九名になります。保育園全体の人数です。保育園が創立されて最小の人数となります。

そして侍浜中学校は二年後には久慈中学校に統合されるということでありました。

これは侍浜町の将来を左右する非常に重要な問題であります。真剣に考えてきちんと意見を述べなければなりません。

人口減少対策を行い、ふるさと侍浜町の発展を期待します」と祝辞を述べられました。

その後、畑中勇吉久慈市議会議員の乾杯の発声後、和やかな雰囲気の中、地域振興の話題等話が弾んでい

ました。

小正月行事と郷土料理体験

一月十一日(木)に「小正月行事と郷土料理体験」を実施しました。

侍浜町老人クラブ連合会のみなさんの指導のもと七名の子どもたちが体験しました。

まず、小正月行事のみずき団子作りを体験しました。粉を混ぜ、色を付けてこねます。きれいな色になつたらちぎって丸めます。色とりどりのカラフルなお団子ができました。それをゆでると完成です。



次にミズキの木に飾り付けます。飾りと団子を枝につけていきます。あつという間にきれいなみずき団子が完成しました。

そして、侍浜町老人クラブ連合会の桑田会長から侍浜の小正月行事のお話を聞きました。昔はカニコの繭を飾つたりしたそうです。郷土料理の体験は昔から食べられていた、郷土のおやつ「みみもち」を作りました。



粉をこねたものを分けてもらい、子どもたちもみみもち作りに挑戦です。

丸くのぼして黒砂糖とクルミを真ん中に入れ、半分に折ります。この形が耳に似ていることから、みみもちと言われているそうです。中から出てこないように慎重にくつつけるところまでやりました。子どもたちは全員とても上手にでき

ていました。これをゆでてもらって、完成です。

全日本強化選手 『福田大悟選手』

柔道教室開催

二〇二四年一月七日(八日)、福田大悟選手(日本エースサポート所属)を招いての柔道教室を開催しました。

福田選手は兵庫県明石市出身、二見中学校(兵庫県)く比叡山高校(滋賀県)く鹿屋体育大学(鹿児島県)を経て現在は筑波大学院(茨城県)で勉学に励みながら実業団に所属し現役を続けられています。各種全国大会に出場し数々の栄光を掴みとった海外大会派遣実績もある、世界最高峰の舞台で戦う現役トップ選手です。



福田選手自ら「自分しかできない特別な形の講習を」と提案してくださり、御多忙の中、親御さん対象



のパワーポイント資料まで作成、御講義していただきました。巧みな技術で笑い声が絶えない講義は、所々多数の質問が飛び、真摯に回答してくださいました。

実技指導では福田選手がこれまでの経験から得た貴重な技術(得意技の披露、身体の使い方、多種多様な細かなポイント)を丁寧に指導いただきました。トップ選手と間近に触れ合い、

テンション上がりつばなしの子供達でした。子供達の目の輝き、親御さんの反応がとても印象的で、福田選手の言葉「柔道だけではなく勉強も大切に!勝ちにこだわり競争力を持つてやります!」その言葉を大切に精進して参りたいと思います。

福田選手、遠い侍浜まで来ていただきありがとうございます。

放課後子ども教室で「クリスマス会」を実施

十二月二十一日(木)に、侍浜市民センターで実施している放課後子ども教室の中で「クリスマス会」を実施しました。

小学校の給食がない午前授業の日に実施したため、サポーターさんたちの協力でカレーを作り、子供たちにふるまいました。おなかをすかせた子供たちはみんなでおいしそうにカレーを食べ、中には二杯、三杯とおかわりをする子もいました。

その後、「子供たちが自身で考えたクイズ」会となり、子供たち自身があらかじめ考えて作っていた用紙をとり、その指示どおりのことをするというものでした。中には「○○の歌を歌う」「○○のポーズをとる」などと書かれた

紙をとり、恥ずかしそうにする子供もいました。

その後、手作りケーキを食べ、もらったプレゼントで早速遊んだりして、クリスマス会を楽しく終了しました。



サンタさんからプレゼント

市政懇談会 開催



令和六年一月十五日(月)十八時三十分から侍浜市民センターにて、久慈市からは遠藤譲一市長以下担当部長他が来町し、侍浜町振興協議会や各町内会等の役員十六名が参加した市政懇談会が開催された。

少子高齢化、久慈市全体の人口の減少傾向や、今後に向けての未来づくり事業について説明がされた。

久慈会長から、人口減少や未来づくり事業の進め方など今後の市政についての質問がされ、市からは活動の後押しを行い、取り組みや紹介をしていくようにできるとのこと。

また、教育旅行について、コロナウイルス感染症は、五類感染症と位置づけられ、やっとな教育旅行も呼ぶことができるという状況になった。全体的に民泊受け入れる家庭も高齢化しているが協力していただける方もたくさんいるので誘致を頑張っていきたいとの話があった。

「野球しようぜ」大谷選手のグローブ届く



岩手県出身でアメリカ大リーグで二刀流として活躍する大谷翔平選手から、

侍浜小学校にグローブ三つが寄贈されました。

これは大谷選手が日本の全ての小学校に贈ったもので、右利き用二つと左利き用一つとなります。グローブには大谷選手からのメッセージが同封。メッセージには、「このグローブが子どもたちの世代に夢を与え、勇気づけるシンボルとなっしてほしいこと、そして「野球しようぜ」という熱い思いが綴られていました。

寄贈されたグローブは三学期の始業式で佐々木校長から児童へ披露。児童たちはさっそく手に取り野球を楽しみました。

岩手のヒーローからのプレゼントに児童たちは心から喜んでいました。

拓陽支援学校 侍浜中学校と交流



十二月六日(水)に、毎年継続している侍浜中学校二年生との交流を拓陽支援学校の体育館で実施。

交流会では、パラリンピックの正式種目「ボッチャ」を三チームに分かれ

十二月六日(水)に、毎年継続している侍浜中学校二年生との交流を拓陽支援学校の体育館で実施。

交流会では、パラリンピックの正式種目「ボッチャ」を三チームに分かれ

外部清掃実施



十二月十八日(月)、侍浜小学校において、拓陽支援学校高等部清掃班が清掃サービスマスターを行いました。

図工室の床掃除では、

生徒たちは、作業後、侍浜小学校の児童や先生方から感謝の言葉を伝えられ、とても嬉しそうな様子でした。

「らくらく」スマートフォン講座を開催



十二月十九日(火)、侍浜市民センターにおいて、「らくらく」スマートフォン講座を実施しました。

スマートフォンを持っていない方も持っている方も写真の撮り方やインターネットの閲覧の方法などを学びました。

スマートフォンの画面を指でなぞり、拡大したり縮小したり、初めての方は感動の連続です。

地図の操作では航空写真の地図が本場に歩いている

侍浜駐在所から

ように見えるストリートビューというものがあり、外国の観光地なども見ることができました。

新しく覚えることもあり、楽しい講座となりました。

冬の交通 事故防止

冬道の安全運転は「いち、二倍の車間距離、三分早めに出発」をお願いします。

また、冬道の運転は、

- ・運転準備を万全に
- ・「急」の付く運転はしない
- ・凍結が予想される場所は要注意
- ・規制速度を守る

路面が濡れている状態に見えても、凍結している場合があります。

冬期間は、濡れているように見える路面は、凍っているものと考え、速度を落とすとして運転しましょう。特に橋梁部やトンネルの出入口、日陰部分は凍結しているため、注意が必要です。

冬期に速度規制を実施する理由の多くは降雪や路面凍結等に伴う天候・路面状況の悪化によるものです。注意しましょう

お知らせ

- 二月(如月)
- 二日 侍浜中学校フレッツ シュナビ
- 三日 節分
- 三日〜四日 市民生涯学習のつどい
- 七日 侍浜小学校新年生保護者説明会
- 九日 侍浜小学校家庭学習強化週間
- 十一日 建国記念の日
- 十二日 振替休日
- 十三日 拓陽支援学校PTA理事会
- 十五日 侍浜小学校授業参観日・学級懇談会・PTA専門委員会
- 十五日〜十六日 侍浜中学校期末テスト
- 十六日 侍浜市民センター開放の日
- 十六日 拓陽支援学校入学説明会・体験入学
- 二二日 生活力アップ事業
- 二二日 拓陽支援学校卒業生を送る会
- 二三日 天皇誕生日

侍浜町の人口と世帯数

(令和5年12月末現在)

○人口	2,146人	(-23)
○人口	1,014人	(-14)
○人口	1,132人	(-9)
○世帯	1,006世帯	(9)
	※	()内は前年比